



【写真】 芦ヶ崎小学校 入学式



議会だより

2019年4月23日 発行

No.212

Tsunan-Town

### 3月定例会 2/28～3/15

# つなまち

町長施政方針	02
平成30年度補正予算・平成31年度予算	03
一般・特別会計討論	04
3月議会採決結果	05
総括質疑・発議案	06
一般質問(町政を問う)・事務局人事	07～11
委員会レポート	12～13
町民登場 この人に会いました	14



津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

【写真】 中津保育園 入園式

平成31年第1回議会定例会が2月28日から3月15日まで開催されました。町長施政方針の表明がされ、8人が一般質問に立ちました。平成30年度補正予算が審議され活発な議論がされました。会期中に合同常任委員会が開かれ、平成31年度予算案について審査を行いました。町長施政方針と平成31年度予算について、総括質疑を4名、討論を3名が行い、平成31年度予算を可決しました。議員発議による意見書2件を可決し、閉会しました。

## 平成31年度

# 町長施政方針

私は町長就任以来「希望と愛、参加できるまちづくり」を基本理念として取り組んできてまいりました。

今年度は、主なものとしてDMO設立に向けた「津南未来会議（仮称）」関連予算や県からの農業専門職員の派遣に伴う費用、在宅介護手当の拡充、教育環境の整備充実、防災対策を進めてまいります。

総務関係では、町全体の公共交通体系の再構築のため公共交通網計画を策定するなかで、持続可能な交通体系を構築したいと考えています。

社会福祉関係では、少子高齢化が進行するなか、緊急通報装置の設置による見守り対策、食事の配食サービスの支援等、買い物弱者を増やさない地域づくりや、社会福祉協議会や民生委員の皆さまと連携しながら、町民の福祉活動やボランティア活動を支援してまいります。また平成31年度から在宅介護手当について、介護を必要とする者の要

件を拡大し、在宅介護をしている方への支援を強化してまいります。

子育て支援・少子化対策の関係では、妊産婦医療費、特定不妊治療費、子どもの医療費の助成、産婦及び乳児への産後ケアサービスへの助成等の充実に努めます。

国民健康保険は、平成30年度から制度の改正が行われ、平成31年度の保険料を引上げさせていただきたいと考えております。

農政関係では、津南町認証米は、導入後8年目を迎え、市場、消費者からの信頼を得ております。平成30年度に創設した水田への堆肥投入補助事業は、化学肥料の節減、水稲の健全化により異常気象による影響を最小限に抑え、土づくりをすることによって良質米の生産拡大へ繋がるよう引き続き支援してまいります。

農地関係では、早期から津南郷土地改良区などの関係機関、各集落にダムをはじめ既

存のため池や水路などの機能確保を促すよう努めてまいります。

観光関係では、平成30年度の第7回大地の芸術祭など、当町でもインバウンド来訪者が徐々に増えてきていることから、県や地域と共に営業活動に取り組んでまいります。

建設課関係では、国道117号の「灰雨スノーシェッド」につきましては、「灰雨新トンネル」として道路改築事業を進めることになっております。

町道整備では、改良工事4線、消雪パイプ布設替え、舗装修繕3路線ほか道路施設の長寿命化に努めてまいります。

教育委員会関係では、夏場の猛暑対策として、各保育園に冷房設備等を整備し、保育環境の改善を図ります。

病院関係は、新年度から整形外科につきましては、地元津南町出身の半戸千晶先生から、常勤医として勤務いただけることになりました。東京慈恵会医科大学とさらに連携

を深め地域医療体制の構築に努めてまいります。

人口減少、少子高齢化、病院経営など、これらの課題に果敢に立ち向かい、全力で邁進したいと考えております。



雪下人参の収穫作業

# 平成31年度予算

一般会計 64億1,400万円

## 重点施策の主な項目

### 総務費

DMO推進事業 330万円  
 県との人事交流負担金 300万円  
 定期バス運行補助・地域公共交通  
 運行事業 8,540万円  
 地域おこし協力隊設置事業 1,613万円

### 民生費

在宅介護手当 615万円  
 要援護世帯除雪事業 558万円  
 障害者介護給付費 1億9,602万円  
 人工透析患者送迎サービス事業 482万円  
 保育園冷房設備整備事業 419万円

### 衛生費

不妊治療費助成事業 105万円  
 子どもの医療費助成事業 1,965万円  
 寝たきり運動事業 938万円  
 町立病院補助金・出資金 3億147万円

津南地域衛生施設組合負担金 1億4,292万円

### 農林水産業費

農産物認証制度補助・土づくり  
 事業補助 1,200万円  
 県単農林水産業総合振興事業  
 補助金 2,228万円  
 中山間地域直接支払交付金事業 1億1,772万円  
 多面的機能支払交付金事業 1億3,972万円  
 林道補修事業 800万円

### 商工費

移住定住促進助成事業 360万円  
 秋山郷プロモーション事業 147万円

### 土木費

橋梁修繕事業 3,500万円  
 町道改良舗装・修繕事業 1億2,200万円  
 除雪機械購入事業 2,490万円  
 住宅改修事業補助 700万円  
 町営住宅整備事業 2,000万円

### 消防費

町防炎行政無線設備整備事業 2,750万円  
 十日町広域事務組合消防費  
 負担金 2億9,151万円

### 教育費

学校体育館屋根ほか改修事業 9,089万円  
 特別支援教育振興事業 5,206万円  
 学校給食設備更新事業 1,075万円  
 埋蔵文化財活用拠点施設  
 整備事業 3,314万円  
 ジオパーク推進事業 2,619万円

### 特別会計

国民健康保険特別会計 9億6,907万円  
 後期高齢者医療特別会計 1億2,267万円  
 介護保険特別会計 17億3,380万円  
 簡易水道特別会計 1億2,581万円  
 下水道事業特別会計 3億7,681万円  
 農業集落排水事業特別会計 2億8,298万円  
 病院事業会計 13億4,740万円

## 平成30年度補正予算

### 一般会計

補正額 ▲1億4,689万円  
 総額 67億115万円

〔主な内容〕

障害者福祉扶助費 ▲1,700万円  
 町道改良舗装工事 ▲1,668万円  
 町営住宅建設工事 ▲2,100万円

### 特別会計

国民健康保険特別会計  
 補正額 3,520万円  
 総額 9億8,525万円  
 介護保険特別会計  
 補正額 ▲3,618万円  
 総額 17億6,664万円  
 簡易水道特別会計  
 補正額 ▲953万円  
 総額 1億6,838万円  
 下水道事業特別会計  
 補正額 708万円  
 総額 3億8,770万円  
 農業集落排水事業特別会計  
 補正額 ▲11万円  
 総額 2億8,500万円

### 一般会計

補正額 2億966万円  
 総額 69億1,082万円  
 〔主な内容〕  
 町立津南病院補助 2億630万円

## 平成30年度補正予算臨時議会

# 一般・特別会計討論

## 一般会計

### 反対討論

栗原 洋子

反対する大きな理由として、新年度の予算編成が、10月からの消費税10%への増税を前提とした予算組みであることだ。

町長は、「消費税が10%に引き上げられる予定となっている。各種手数料、負担金、使料などの見直し、身の丈に合った財政運営を行っていく」と表明し、10月からの10%への増税は「やむを得ない」としている。

世論調査でも全国的に増税見送りといい声が強く広がっている。貧困と格差が更に広がる消費税増税を、「やむを得ない」とし、消費税増税を見越した予算編成には反対である。

身の丈に合ったというのであれば、町民に負担を課すのではなく、消費税増税反対の声をあげ、町民にもっと寄り添った、町民のための予算とするべきである。

### 賛成討論

村山 道明

桑原新町長は、昨年6月就任以来「希望と愛・参加できる町づくり」を基本理念とし

て町政に取り組んできた。その重点施策として、DMO設立に向けた「津南未来会議」、

の立ち上げや、県からの農業専門職員の派遣を頂き、新たな農業政策の推進を図る。一方消防・防災対策を充実し

町民の安全、安心の確保や学校・保育教育関連で、夏場の猛暑対策として、各保育園と小中学校に冷房設備を整備し

環境改善を図るとしている。このことから、町長の基本理念の実現に向けた強い決意が感じられた。町民が将来にわたって安心・安全に住み続けられるよう、災害に強いまちづくりなど、さらなる推進を望み、今後健全な財政基盤の確立に努めていただくことを申し上げ賛成する。

## 国民健康保険特別会計

### 反対討論

栗原 洋子

総括質疑でも訴えたところ、国保加入者の多くは所得の低い人が殆どである。

そういう中、全国知事会、市長会、町村会などは国に財政支援を求め、2017年、18年にも医療保険間の格差解消のために、臨時的な財政投

入にとどまらず、定率国庫負担を引き上げること、国に要し声をあげないのか。

新年度、国保料の引き上げを表明し、「町を守るためやむなく苦渋の決断をした」と述べたが、町民に負担を強い

ること、町を守るなど出るのか。新年度国保料引き上げに

### 賛成討論

風巻 光明

国保は県単位の広域化となり、保険料徴収の範囲での運営することが求められている。その様な中、過去4年間は据え置いてきたが、来年度

1.国民健康保険料は所得に応じ徴収されるが、本年一人当たり年7万8千円から8万円台の予定である。この額は、県内全市町村の中で23番目と低い。

2.低く抑えられているのは、一般会計から基金と合わせ4千万円本会計に繰入するからである。一般会計から赤字繰入をする県内市町村は数年前10市町村あったが、今は津南町だけとなっ

ている。以上のことから、町民の生活に十分配慮した予算は大いに評価されるものと考え賛成する。

## 病院事業会計

### 賛成討論

風巻 光明

来年度予算の医業収益は3億7700万円減とし、合計で13億4700万円の厳しい予算となったが支出では給与費全体で3900万円減と

している3階の「介護医療院」の展開について着実に調査研究を重ね、実現に向けて取組みが期待できる。

また医師、看護師、事務部門全員が一丸となつて、赤字を減額すべく、医療報酬の点数の上積などに取組む姿勢がうかがえる。今後自立した病院体制を確立し、この難局を打破できるよう、尚一層取り組まれることを期待し本病院会計予算に賛成する。

本議会は、平成31年第1回目の議会であり、主に、新年度（平成31年度）予算が審議されました。その他、平成30年度補正予算や条例改正が提案され、活発な質疑が有りました。陳情1件が否決されましたが、その他はすべての議案が可決いたしました。

### 平成31年3月議会採決結果

議案番号	件名	表決状況											採決結果	
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	筒井秀樹	栗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	吉野徹		恩田稔
承認第1号	専決処分の承認について（平成30年度津南町一般会計補正予算（第10号））	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第1号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第2号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第3号	津南町在宅介護手当条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第4号	津南町高額療養費貸付基金の設置・管理及び貸付に関する条例を廃止する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第5号	津南町牧場条例を廃止する条例の制定について	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第6号	津南町雑水山第2発電所施設管理運営基金条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第7号	平成30年度津南町一般会計補正予算（第11号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第8号	平成30年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	平成30年度津南町介護保険特別会計補正予算（第4号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	平成30年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第4号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	平成30年度津南町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	平成30年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	財政調整基金の処分について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	津南町スポーツ振興基金の処分について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	平成31年度津南町一般会計予算	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	平成31年度津南町国民健康保険特別会計予算	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	平成31年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	平成31年度津南町介護保険特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	平成31年度津南町簡易水道特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	平成31年度津南町下水道事業特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号	平成31年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第22号	平成31年度津南町病院事業会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	欠	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可
発議案第1号	地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	欠	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可
陳情第3号	長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情	欠	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	否
陳情第4号	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書の提出について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

### 平成31年第1回臨時議会採決結果

議案第23号	財政調整基金の処分変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第24号	平成30年度津南町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第25号	平成30年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第26号	平成30年度津南町介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	平成30年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第28号	平成30年度津南町病院事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合 否＝賛成少数で否決等の場合）

●表決状況の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除：議長は表決に参加できません）

# 総括質疑

ジオパークの経済活動として結実とは

筒井秀樹

**問** 「ジオパークを経済活動として結実」の具体的な取り組みは。

**町長** 地域資源の価値を理解して経済活動を大きくしていく流れができるのを願っている。

**教育次長** 信越トレイルとの連携の話があがっている。

**問** 「商工関係では、起業促進」の具体的な取り組みは。

**町長** 起業促進には予算措置はしていない。景気刺激策は、必要に応じて予算措置していく。

## DMO3セクの違いは

栗原洋子

**問** 第3セクターであった「津南地域活性化センター」の失敗を教訓として、DMOと第3セクの違いは何か。また、DMO関連予算3百万円の内訳を問う。

**町長** DMOは一般社団法人、一般財団法人、NPOなど、3セクも共同出資による様々な法人形態がある。DMOは町からの補助金、公的支援を受けられる組織形態を想定し、今後十分検討しなければと認識している。

## 総務課長

予算3百万円の内訳は、講師料30万円、コーディネート130万円、他報償、費用弁償など。

## 今後の財政運営について

石田タマエ

**問** 自主財源比率が下がり、公債費率が年々上がっている。今後の財政運営の考えは。

**町長** 事務事業見直しで、何十億も捻出できない。有利事業等見逃さないように注意を払っていく。

**問** H31年度予算で、団体への補助金を最低でも5%以上削減したこと、住民の士気が下がるのではないか。

**町長** 持続可能な財政運営の為に町の諸事情をご理解頂きたい。更なる見直しをしていく。

## 旧三箇小の宿泊施設への建設は

風巻光明

**問** 都会との交流は観光PR、地域おこしに重要な役割を果たしているが、予算化した公費を投入しての旧三箇小の宿泊施設工事は民業を圧迫しないよう、旅館への配慮はされたのか。またその施設は将来長く持続性を担保されることか。

**町長** 三箇地区「都会と交流を進める会」では、観光客を泊

める考えはなく地域の活性化や町全体の交流人口の増加のためにも必要。本事業に理解を得られていると認識している。

# 発議案

地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について

全国一律最低賃金の確立など、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。

中小企業負担を軽減するための直接支援として、中小企業とそこで働く労働者の社会保険料負担や税の減免制度などを実現すること。↓賛成多数

会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書の提出について

現に任用されている臨時非常勤職員の任用や条件が維持されるよう、各自治体に対し適切な助言を行う。改善に必要な地方自治体の財源を確保すること。

本格的業務を担う臨時非常勤職員を任用の定めのない正規職員として採用する仕組みを整備すること。↓全員賛成

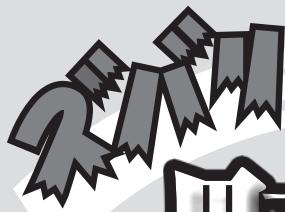
## 「保育園運営に関わる調査特別委員会」報告

保育園統合、1園化に関して、議会独自で調査検討をすることを目的として平成30年12月議会で設置されました。この間の調査状況をご報告致します。

昨年の12月以降、6回の特別委員会を実施致しました。その内容は、教育委員会より今までの経緯の説明を受け、その検証を致しました。特に、正面地内での用地交渉と、ひまわり保育園1園にした経緯について聞き取りを行いました。また、答申をまとめられた当時の委員長より、当時の熱い思いや適正規模についてのご指導を頂きました。

今後は、「より良い子どもの育ちの環境」についてもう少し研究していく必要があると認識しております。





# 町政を問う!!



## 一般質問(8議員)

- 1** 半戸義昭 議員 (7ページ)  
1. 人口減少対策、どう、取り組む  
2. 人手不足、高齢者の活用は
- 2** 大平謙一 議員 (8ページ)  
1. 農業専門職、津南農業の活性化になるか
- 3** 村山道明 議員 (8ページ)  
1. 津南未来会議の方向性と実施工程は  
2. 病院赤字、昨年並みか
- 4** 恩田 稔 議員 (9ページ)  
1. 移住、定住、グリーンツーリズム振興策は  
2. 地区振興協議会への助成の考えは

- 5** 筒井秀樹 議員 (9ページ)  
1. 町のキャッシュレス化への取り組みは
- 6** 栗原洋子 議員 (10ページ)  
1. 医療過疎地の切実の声、受け止めよ
- 7** 中山 弘 議員 (10ページ)  
1. 保育園統合は  
2. 自転車活用推進法の施行について
- 8** 石田タマエ 議員 (11ページ)  
1. 認知症初期段階での集中対策は

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 人口減少対策、どう、取り組む、高齢者活用は

町長 人口減少は社会全体の問題であり、町としても重要、かつ、喫緊の課題として認識している。対策として保育環境の改善、子育て支援施策、他より手厚い学習支援員の配置など、教育力の強化、空き家改修補助事業、移住、定住促進事業、新規就農者支援事業などが、人口減少に歯

閻 人口減少対策は、どの自治体でもその対策に苦労されているがなかなか妙案がないのが実情である。しかし、喫緊の課題であり如何に早くくい止め、増加に繋げていくか、新年度予算のなかでの対策について伺う。さらに中・長期的に人口減少に対しどのようなお考えがあるか伺う。

加速度的に人口減少が進んでいる、早急の対策が必要と思うが対策は



ゲートボールを楽しむ高齢者  
90才以上が5~6名元気で活躍

閻 高齢者の71・9%の方が65才以上になっても就労を希望しているといわれている、高齢者の労働力が今後今までの上に必用になってくるのではないかと、経験豊かな高齢者の活用についてお考えを伺う。

町長 当町では、2040年には65才以上の高齢者が50%になると予想されている。今後は経験豊かな高齢者の活用をいかに作っていくかが町づくりのキーワードの一つと考えている。

止めをかける対策として引き続き予算計上している。

人手不足、労働力不足の中で高齢者の活用を考えるべきでは

# 農業専門職員参事の仕事は



大平 謙 議員

**津南農業の活性化に繋がる仕事をしてほしいが**

**問** 町が農業の専門家として迎える人は参事とするそうだが、何をするのかわからぬ。県に対し、何をしてもらうか説明してあるのか。

**町長** 県には町の要望は伝えられている。庁舎内に農業の専門職員がいないため、県と人事交流事業を活用し専門職員を確保することにした。

農業に精通した人であり横断的に調整できる人で生産現場に精通した人が必要と考えた。地域振興課に所属し参事として仕事をしてもらう。まずは地域をよく知ってもらいます。仕事内容は農家とのコミュニケーションを通じて、津南町の農業経営モデルの作成、水稻と園芸蔬菜、園芸蔬

菜単独、水稻、畜産など津南の儲かる農業のモデルの作成、津南に適した新規作物の選定を県の振興局や高冷地農業技術センターなどと連携し検討してもらう。農産物の販売戦略を立ててもらう。

**問** 農業専門職の方に活躍してもらうための予算やスタッフはどうする。

**副町長** 現時点では詳細は不明であり現予算で対応したい。具体的になり予算が必要になれば補正でお願いしたい。スタッフは地域振興課農林班で対応する。

**問** 参事の仕事を農家にどのように紹介していくのか。

**副町長** その人が内示を受けた段階で津南の事を調べて来てくれると思う。4月以降に町から現状説明をして、それから農家とコンタクトを取っていただきたいと考えている。



雪下人参の選別・出荷作業

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 仮称・津南未来会議メンバー4月募集



村山 道明 議員

**未来会議メンバーは40人だよいのか**

**問** 平成31年度事業の重点施策から、津南DMO設立主旨及び「仮称・津南未来会議」の方向性と実施工程詳細はどうか。また地方創生政策との関連はどうか。

**町長** 実施工程は、今年4月に会議メンバーの公募を開始したい。募集人数は40人程度。5月にメンバーを決定し、6月に第1回目の津南未来会議を開催する予定である。

未来会議では、観光や交流を通じて、どのような地域づくりをするのか、多様な町民、団体など、立場や年齢を超えて議論を交わす形をとりたいと考えている。

会議は、年4〜5回程度開催し、ビジョン、将来性の方向

性を検討集約したい。今後具体的な実施事業、予算など検討を進め、地方創生推進交付金を有効活用してまいりたいと考えている。

**病院赤字は、昨年度同額程度になるのか**

**問** 今年度の病院運営費補助について、決算見通しを伺う。

**町長** 11月から院外薬局方式となったことから、どの程度収支に影響を与えるか見込みが難しい状況である。

資産減耗費の薬品分が今年度の決算額に影響を与えると考える。2、3月分の見立て額を勘案すると、昨年度同額程度の補助金が必要ではないかと見込んでいる。

3階に介護医療院の導入を検討していきたい。



DMO 研修会



# 移住・定住、グリーンツーリズムはどう進める



恩田 稔 議員

## 小中高の教育体験旅行は

**問** 津南と名前を聞いただけで欲しくなる物産、訪れたいくなる観光、住みたくなる移住・定住という津南ブランドを作るとの所信表明をされた。農業専門人材の登用、津南未来会議の設立など、物産と観光の方向は示された。移住・定住は重要な課題と考えているが、具体策が見えない。小中高校生の体験型教育旅行を含めたグリーン・ツーリズムはどうお考えか。

**町長** 高齢化や家族構成の変化の影響で受入れ農家が年々減少しているのが現状である。

**問** 減少しているのは近隣市町村どこも同じである。一方で、国会では事業の重要性から財政支援をしても進めるべきと、今国会に議員立法案の提

出を目指している。安塚の越後田舎体験協議会に十日町市も加盟し連携を図っているが広域も方法の一つではないか。

## 地域振興課長

検討する。

## 地区振興協議会への助成は

**問** 地区振興協議会は現在3地区、設立準備段階が1地区ある。活動内容は地区によって違いはあるが、目指す方向は共有している。10年先を思い危機感を持って活動している。共助の地域づくりは今後さらに求められるはず。しかし、活動費の財源は各戸からの会費で賄われており、どの地区も資金不足である。助成金を出せないか。

**町長** 地区振興協議会には大変期待をしている。助成金については、地域を代表するまちづくり団体として、課題を解決し、行政業務の一部をシェアできるものがあるれば検討したい。



こんな農作業でも楽しそうです

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# キャッシュレス化の取り組みと現状について



筒井 秀樹 議員

## 津南町のキャッシュレス化、行政はどう取り組む

**問** 高齢化が進む津南町内にも、民間主導のまま見守るのか、現時点でのお考えを聞かせ願いたい。また、庁舎内の決済スピードを速める方法としてキャッシュレスに取り組む考えはないか。

**町長** 国は消費税増税に伴い、キャッシュレス手段を使ったポイント還元、割引を支援する制度を創設した。

町の動きとしては昨年から大きな動きはない。今後も国の動きを注視しながら、事業を推進していきたいと考えている。

次に庁舎内のキャッシュレス化だが、住民の利便性はあると思うが課題も多くあるので、研究していきたい。

**問** 売り手側、買い手側とも高齢化が進んだ津南町で、キャッシュレス化の対応はできると思うか。

**町長** 個々の対応には差があると感じている。

**問** 町の管理する主要観光施設の方向性は指導しないのか。

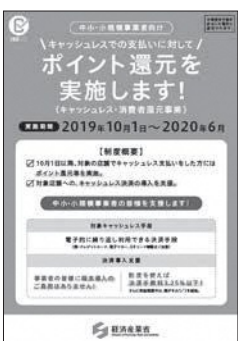
**地域振興課長** 町としては相談があれば、考えたいと思う。現時点では、考えていない。

**問** 財政難だからこそ、観光施設等でQRコード等を利用し、寄付を募るような考えはないか。

**地域振興課長** 新提案ですので検討していきたい。

**問** 消費税増税まで時間がないので的確な情報提供をお願いしたい。

**地域振興課長** 商工会等と連携して有効な手段を講じていければと思っている。



時代の流れについていけるか津南町

# 医療過疎地の切実な声、受け止めよ



栗原 洋子 議員

## スタッフ確保への覚悟は

**問** 津南病院休床病棟の復活と活用、介護医療院今後の見通しは。

**町長** 病院3階に介護医療院の導入を検討している。要介護高齢者の療養、住まいと生活を長期に渡って、医療と介護で支える新たなモデルになる。看取り、ターミナルを支える重要な役割とされる。昨年10月の地域医療構想調査会議で事業計画概要書を提出した。今後医療スタッフ確保、利用者数の推移を精査し対応を検討したい。

**問** 訪問看護24時間体制にはスタッフ確保が課題、可能なのか、看護師確保に取り組む覚悟は。また、病院事務長職について病院運営への専門的知識が必要だ。医事も含め専



在宅医療もスタッフ充実が第一

## 門職化の考えは。

**町長** 24時間体制の必要性、採算性を詳細に検討する。医療スタッフ確保には難渋している。医師について2020年度から慈恵医大より後期研修医の継続的な受け入れを行い、即戦力として期待している。事務長職専門化は早急の設置は考えていないが、今後の課題としたい。

**問** 中条第二病院存続について、家族会の方は「県の方向を聞きがっかりした」と怒っている。県の見解は歯切れが悪く精神医療に責任を負う姿勢が見えない。精神病床はどうしても必要だ。考えを伺う。

**町長** 県・十日町市と連携し、存続へ向け対策を十分検討したい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 津南町保育園統合について



中山 弘 議員

## 待機児童をなくす対策は

**問** 人口減少一途で待機児童や兄弟で一緒の保育園に行けない理由は。

**教育長** 核家族化が進み就労のため幼少の子どもを預ける家庭が増え、各保育園で3歳未満児の入所増加となり、保育士不足が要因である。

待機児童が発生する場合、保護者の希望に基づき入所選考基準指数の高い順に他の保育園入所を決定している。

これらは保育園統合により対処できると考える。

**問** 保育園統合が先に進まない原因は。

**教育長** 保護者説明会、地域説明会を実施した。住民・議会懇談会も含め1園計画や建設費用に異を唱える意見があったこと、議会で調査特別委

## 自転車活用推進法の施行について

**問** 基本方針が閣議決定された。飯山市から十日町市の間は最高の環境にあるが新分野の開拓を伺う。

**町長** 自転車は身近な交通手段であり環境、災害、健康、観光等に影響し、多分野で活用される。当町では取り組める分野から徐々に検討したい。

飯山市から十日町市間は信濃川を挟み風光明媚な日本の原風景が今尚残る貴重な地域である。信越自然郷エリアでは飯山・栄村にレンタルサイクルを配備しており、地形的に良いコースと考えられる。今後沿線市町村や関係団体と検討したい。



0歳児対応可能なひまわり保育園

# 認知症初期段階での集中対策を

## 認知症初期集中支援 チームの住民への周知を



石田 タマエ 議員

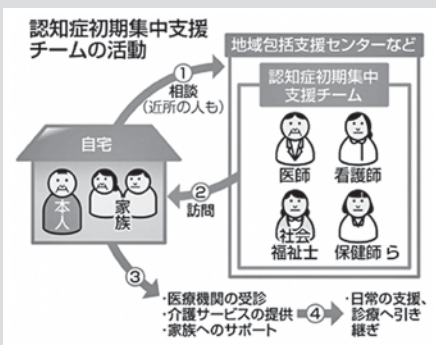
問 認知症は、加齢に伴う物忘れと軽く考えて放置される傾向にあり、重症化してから顕在化し、大慌てする事例が多くみられる。近年、医学の進歩に伴い、認知症の早期発見が可能となり、早期に対応し重症化を予防することが最も重要と言われており、認知症の早期発見と対応は介護予防の中でも最優先課題と認識する。平成30年度から始まった「認知症初期集中支援チーム」で、周囲は認知症ではないかと心配しているが、本人は認知症ではないとして理解が違っている人へ対応してほしいが、現状はどうか。

町長 現在包括支援センターで対応しているが、平成30年

度は2名の方に対応した。その他は、通常の相談と関わった。相談に来られた方への対応であり、相談会は年4回実施しているので活用してほしい。

問 地域で、苦慮しているご家族が多々おられるが、相談に来られる方々だけでなく、積極的に地域の情報を得るよう努めるべきではないか。また、制度に関する情報を住民に周知する必要がある。

町長 住民ニーズが多様化し、福祉制度も複雑化する中で、職員の資質向上を図っていかねばならない。また、認知症初期支援対策については、民生委員等を通して周知を図る。



Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 事務局人事

お世話になりました



石沢 和也  
(総務課)

議会事務局  
にお世話にな

り、瞬く間に二年間が過ぎました。貴重な経験をさせていただいたことに感謝しております。

「開かれた議会」を目指す津南町議会に、微力ながらもお力になればと思いいつめてまいりました。

この間、当町を取り巻く厳しい環境は依然厳しく、保育園、病院、ごみ処理、公共交通など様々な問題が山積しておりましたが、特別委員会を設置するなどの課題解決に向けた議会活動に、少しでもお役に立つことができたのか気になるところでです。

最後になりましたが、町議会の益々のご発展と、議員の皆様のごさらなるご活躍を祈念し、異動の挨拶といたします。ありがとうございます。

よろしくお願ひします



石田 剛士  
(福祉保健課)

このたび、  
議会事務局に

お世話になることとなりました。民主主義の根幹となる議会運営に携わらせていただくこととなり身の引き締まる思いであります。

近年、全国的に少子高齢化社会を迎え、津南町では高齢化率は40%を超え、出生率も県平均を下回っています。人口減少により病院や公共交通体系等の喫緊の課題をはじめ、町には課題が山積しております。

これらの解決のためみなさまと力を合わせて取り組み、住んでよかった、来てよかったと言ってもらえる町となるよう、施策を展開していくことが必要と考えます。

そのためにも住民により開かれた議会となるよう事務局としての務めを全うして参りたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

# 委員会レポート

Commission Report

## 総文福祉常任委員会

### 津南町老人クラブ 連合会との懇談会

◆とき 2月22日(金)  
◆ところ 津南町社会福祉協議会  
会議室

◆内容 日ごろ各地域でご活躍を頂いている高齢者団体（老人クラブ連合会）との懇談を通して地域課題や団体運営の課題等を共有し、今後の町づくりを共に考えることを目的に実施した。

悩みどころは、どこも同じで、年々会員が減少していくことが大きな課題として挙げられる。町内の各集落での老人会も会員減少等によって、会の存続ができなくなり町老人クラブ連合会からも脱退せざるを得ないのが現状である。また、若い方々は60歳を過ぎてまだまだ現役で仕事を過ぎておられるので、会への加入が進まず、在籍する会員は1年ごとに年を重ねること、役員の仕事が難儀になる

ことも現実の課題として挙げられた。

### 懇談会を終えて

普段地域を見守っていただいている方々はどこの集落でも高齢者であり、地域活動の中心となつてご活躍を頂いていることに感謝申し上げます。私達議員はもとより、多くの方々から加入して頂けるよう声かけをしていく。

（担当 石田タマエ）



高齢者スポーツ大会

## 介護保険サービスの町 現状を学ぶ

◆とき 2月1日(金)

◆ところ 役場第4委員会室

◆内容 介護保険事業（制度）の利用サービス状況や介護予防制度の内容について、介護サービスを利用するため、介護サービスマニュアルを深めるために、役場福祉保健課担当者より説明を受けた。

◆内容 当日現在で、介護利用認定者は835名であった。申請から認定審査結果通知まで30日程度かかること。多種多様な介護者のニーズにあった形態のサービスが用意されていた。いま特に取組としていた。予防制度・総合事業について意見交換を行った。

### 懇談会を終えて

少子高齢化が進んでいる中、生活支援サービスの体制整備の充実が求められている。本人に寄り添った利用サービスの向上や、今後の介護保険料の改正には、慎重に審議して行きたい。

（担当 村山道明）

## 産業建設常任委員会

### 次世代型廃棄物処理装置 廃棄物処理施設の現地視察

◆とき 2月13日(水)

◆ところ (株)エコルジヤパン

◆内容 津南地域衛生施設組合ゴミ焼却炉の老朽化によりいつ使えなくなるかわからない状況にある。ゴミ処理を十日町市にお願いするか、新設するかの段階で新たな対策が出た。次世代型有機物減容装置 E R C M（無公害で低コストのリサイクル技術）である。説明を聞いただけでは理解するには程遠く、実物の視察に至った。

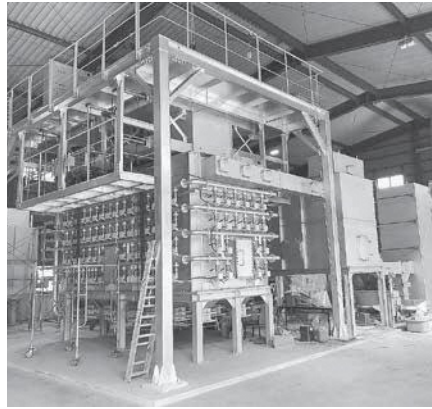
17年間研究を続けており、名古屋で一社実用化されている。この装置はこれまでとは全く発想が違い、燃焼ではなく熱分解という。あらゆる有機物（生ゴミ・糞尿・ビニール・廃プラ・廃タイヤ等）をセラミック状の粉末に転換し無機物（ガラス・鉄等）はそのまますべて出る。結果最終処理場もいらないうという。施設内に入ると思ったより小さい装置である。匂いは木酢のような燃えかす臭に感じました。処理機というよりは発電

機のようなのである。

### 視察を終えて

あまりにも夢の装置で無公害、安価で維持管理費も少ない装置はまだ改良進行中のようだが、関係者の理解を得るのが大変だと感じた。

(担当 中山 弘)



廃棄物処理施設

### 道路除雪状況調査

◆とき 2月7日(木)  
◆ところ 町内町道・県道路線

◆内容 2月行事、「道路除雪状況調査」を行いました。当日は快晴で、朝9時から大井平・亀岡町道、宮野原県道、出浦・百ノ木・日出山の町道・県道、加用・小池町道、



除雪作業

朴木沢町道、中子町道、谷内・赤沢町道を調査した。

降雪もなくきれいな道路状況で、県道日出山地区では業者による雪庇処理作業中であった。

また、朴木沢・中子の坂道では、道路の凍結などで下りの際大変危険なため、融雪剤を撒いて欲しい、雪の壁で左右確認ができないため角切り除雪をして欲しいなど、委員から要望が出た。

### 調査を終えて

1月は降雪もあったが、気温も高く雨の日も多く除雪状況は非常に良かった。

町除雪隊の苦勞、努力に感謝し、今後も克雪・道路除雪に(国県道、町道含め)町を挙げて取り組む必要を感じた。

(担当 栗原洋子)

### 津南町農協・農業委員会との懇談会

◆とき 1月25日(金)

◆ところ 町役場大会議室

◆内容 JA津南町よりH30年度の実績、H31年度の計画、農業委員会より建議、産経委員会より建策について内容と町の回答内容が説明された。

参加者より質問・要望が出された。

一、農業労働者が不足、地方公共団体が派遣事業主体となり取り組んでほしい。

一、夏場の水不足は深刻である。ダムの改修など対策を。

一、津南ブランド・商標登録より特許を取得することを考えては。

一、役場内に農業の専門職を配置すると聞くが販売、営業に強い方を願いたい。

一、町はもつと鳥獣被害対策に真剣に取り組んで欲しい。

などなど多くの意見が出された。

### 懇談会を終えて

厳しい農業情勢の中でいかに津南農業を他の産地に勝ち抜くために、行政・生産者・関係機関の一体の取り組みが必要である。

(担当 半戸義昭)



園芸作物普及(雪下人参)



## 町民登場

### この人に会いました…

#### 小林 由里恵さん (寺石)



#### ■自己紹介

出身は南魚沼市の六日町です。  
2017年の4月に津南町に嫁いで、2年が経とうとしています。以前は長岡市で介護福祉士として働いていました。

#### ■Q津南にきて驚いたことは何ですか？

雪が多いということは覚悟していましたが、生活してみると想像以上に大変でした…笑  
ですが、除雪の上手さや雪深いこの地で生きていく人々の力強さを感じました。

#### ■Q津南町で生活してみてもうですか？

現在、役場の総務課で臨時職員として働いています。嫁いできた当時は、名字や環境、周りの人も変化し戸惑う毎日でした。仕事内容も初めてのことが多すぎ

て不安いっぱいでも過ごしていたことを思い出します。ありがたいことに周りの方々にも恵まれ、人の温かさやつながりを感じながら充実した日々を送っています。

#### ■我が家のアイドル♡

2018年6月から小林家に仲間入りした愛猫のリリを紹介します(\*^^\*)  
動物愛護センターから譲渡してもらったキジトラ白のメスです。やんちゃですが、とても可愛いので毎日癒されています。その半月後にはチワックスのパン君も仲間入り♪

追いかけてばかりで、2匹が仲良くなる日はまだ遠いようです！笑



こんなところにふきのとうが

「暑さ寒さも彼岸まで」  
今年の彼岸はちよつと違う。窓から田の畦がはじめて見える。誰が散らかしたか玄関にワラクズが落ちていた。まさかツバメ？それともスズメのいたずらか、そういえば先祖を迎えの墓作りもしなくて済んだ。  
心配性でもないのになぜか胸騒ぎがし百姓でもないのに田畑を思う。この地に生まれた宿命なのかもしれない。有るものが無い、無いものがある。新しい出会いと別れの季節。この慣用句には「辛いこともいづれ時期が来れば去っていく」の意味がある。少し早い春がそこまで来ている。出会いが多い楽しい町の今年を思う。  
(中山弘)

編集後記